

編集後記

炉端の棚に保存されている過去10年平成16年からの例会議事録や学習会資料と、炉端の会創立当初からの1G、2G、3Gの資料は木下前園長から提供して頂き、平成6年（1994年）9月から平成27年（2015年）7月までに実施された学習会・園外研修のほとんどの題目・講師名を調べることが出来ました。

ビクターセンターのテーブルに資料を積み上げ、ファイルを1枚1枚めくり学習会の記載を探す作業は大変でしたが、実施が確認出来ただけで239回、20年の歴史を実感できました。

9期 火曜 吉田 清美

記念誌編集委員の皆さんは、会員および民家園等の協力を得て、素晴らし「炉端の会 20周年誌」作り上げました。

その成果として、炉端の会の草創期の状況も良く分かる様になりました。この編纂作業では、編集委員の皆さんが各々の能力を最大限に発揮され、当初の想定をはるかに上回る内容の濃い記念誌として、また貴重な資料となりましたことを大変誇りに思います。

炉端の会の皆さまには折に触れご覧いただければ、我々記念誌編集委員の大いなる喜びとなることでしょう。

8期 水曜 野田 滋郎

「炉端の会」20周年の節目に、少しでも記念行事と記念誌作成の手伝いができて良かったと思っています。

記念誌の編集では電子版での発行となり、パソコン技術が無いため他の委員の方々に御迷惑をおかけしましたが、編集委員会に参加してみて、「炉端の会」の「長い歴史」と「活動の幅の広さ」を改めて実感しました。

11期 水曜 羽石 一夫

設立以来の歩みや多岐にわたる活動内容を記録に残しておく好機であると思い、編集に参加しました。作業は原稿依頼、執筆、校正、編集、会議等多岐にわたりましたが、「炉端の会」の詳しい活動内容を纏めることができ、多少は貢献できたと思います。

11期 木曜 長谷川 益男

炉端の会 20年誌実行委員として関れた事に対し大変嬉しく光栄に思い関係の皆さまに深く感謝とお礼を申し上げます。

PC技術の未熟さにより戦力として大きな貢献は出来ませんでした。会議には極力出席、発言をする様にしました。

実行委員の皆さんは常に前向きに問題を捉え、会議では喧々諤々の意見が飛び交い、厄介で面倒な事でも積極的に取り上げて20年誌に反映され内容が充実して行く様子には、正しく感心しました。

また私より人生のはるか先輩で80歳近い方がPCテクニックを駆使、色んな事に逃げないで積極的に取り組まれる様を身近に見て自分の人生の素晴らしい手本として大いに勉強になり炉端の会のメンバーになって本当に良かったなと心から思いました。

炉端の会の皆様とは未だ未だ長いお付き合いになるとと思いますがどうぞ宜しくお願い申し上げます。

9期 金曜 鍛治 慎一

途中より、広報の一員として参加する事になりました。

まだ発足して、約3年余りの広報チームですがその間、広報メンバーの活躍による「炉端の会」様々なイベントなどの集材記事、写真や広報物などを20周年誌の編集に役立てる事が出来たので広報チームとして喜んでおります。

10期 金曜 川島 康夫(広報)

編集委員会に広報の力も欲しいとの事で、途中から参加しました。その段階では編集委員長だけが全容を把握しており、編集委員は進捗状況がよく見えていませんでした。そこで、HPの中に編集委員だけが見る事が出来る20周年誌専用のページを作り、集まった原稿をHP化して、進捗状況を編集委員の中で共有できるようにしました。これにより、編集作業の進捗に多少なりとも貢献できたのではないかと考えています。

10期 金曜 広瀬 民雄(広報)

20年誌の編集委員に加えていただき「ああでもない、こうでもない」と楽しく、充実した一年間を送ることができました。

歴代会長のインタビューや活動の歴史などを担当し、「会員のみなさまが絶えず新しい試みに挑戦してきたことにより今日の炉端の会があるのだ」と痛感しました。

13期 金曜 布野 俊一

21年前(H6)の5月4日、1人で2,292人のお客様の対応！会発足前の有志の公開日誌の数字です。添えられた「嬉しい」のコメントに、立ち上げ時の熱い思いを感じました。編集委の間で飛び交う紳士的？淑女的？簡潔メールには、何とか形に残そうよ！との熱意（と締切のプレッシャー）が乗り、毎日PCを開けるのが楽しみでした。

15期 日曜 木下 あけみ

平成26年度は、炉端の会が20周年を迎えた年です。前年からの引き継ぎで、20周年記念行事として、記念式典・記念植樹・記念誌の作成の3つを大きなイベントとして行うこととなりました。このうち、記念式典と記念植樹は滞りなく執り行うことが出来ましたが、一時はどうなる事やら、と思ったのが記念誌の作成でした。

いくら例会・班長会で協力を要請しても、写真や記事が集まらないのです。これを救ってくれたのが、20周年記念イベント実行委員（現在は20周年記念誌編集委員に改名）の地道な努力でした。

写真の発掘やインタビュー等、各委員の奮闘により資料が集まるにつれ、判ってきた事があります。それは草創期の頃、炉端の会の在り方を諸先輩が模索しながら少しずつ確立された事です。今はそのルールに乗って活動していますが、改めて今までの先輩方のご苦労にお礼申し上げたいと思います。

最後に、本の編集という慣れない仕事に対し、各自工夫して活動頂いた編集委員各位、そしてweb上での公開に尽力いただいた広報チーム各位、民家園の側からさまざまな面で便宜を図って頂いた畑山職員・柳職員に深く感謝申し上げます。

平成27年8月吉日 編集責任者 10期 土曜 水野 鉄夫

編集委員

9期	火曜	吉田 清美	10期	金曜	川島 康夫（広報）
10期	火曜	飯久保 武夫（広報）	10期	金曜	広瀬 民雄（広報）
8期	水曜	野田 滋郎	13期	金曜	布野 俊一
11期	水曜	羽石 一夫	10期	土曜	水野 鉄夫
11期	木曜	長谷川 益男	9期	日曜	井上 文雄
11期	木曜	大村 八洲雄	15期	日曜	木下 あけみ
9期	金曜	鍛冶 慎一			